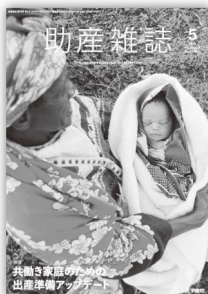


助産雑誌 Back Number

★バックナンバーのお取り扱いについて

- ① 2020 年 11 月号以降の雑誌は、医学書院受注センター(TEL : 03-3817-5666)にて承ります。
- ② それ以前の号についてのご注文や在庫のご照会などは、下記へお願いいたします。
株式会社東亜ブック 〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町 5-27-11
TEL:03-5947-4781 FAX:03-3923-4539



2022 年 5 号 (9-10 月号)

特集

共働き家庭のための 出産準備アップデート

乳幼児のいる家庭でも共働きが半数を超えました。働き方も価値観も変化しつつある時代に、「共働き家庭を対象とした出産準備・育児教室に追加したい内容」をまとめました。特別企画として、産後の生活の計画をつくる「アフターバースプラン」も紹介しています。



2022 年 4 号 (7-8 月号)

特集

切れ目ない支援を実現する 産前・産後の訪問看護

妊娠中から産後まで切れ目ない支援を実現する方法の1つとして、訪問看護が注目されています。「産前・産後の訪問看護とは何か」という基本から、どのようなケースで活用可能か、導入・連携の方法まで、この特集で産前・産後の訪問看護が分かります。



2022 年 3 号 (5-6 月号)

特集

オンラインクラス・ オンライン相談

急速に広がったオンラインツールの活用。現代女性のニーズに合わせ、サービスの一形態として定着しつつあります。本特集では、オンラインクラスや相談対応を効果的に実施するために、ノウハウとポイントの解説、さらにさまざまな助産活動における実践をまとめました。



2022 年 2 号 (3-4 月号)

特集

教科書に載っていない 「進まない分娩」の対応

正常に経過していたはずなのに、なぜか陣痛が弱くなる、手を尽くしても進行しない。そんな「進まない分娩」への対応、進まない時に必要なサポートを、開業助産師のワザや助産外来での実践、医師の視点から考えます。



2022 年 1 号 (1-2 月号)

特集

COVID-19 流行下の 助産ケア

2020 年以降、COVID-19 が妊娠・出産にも大きなインパクトを与えました。そんな中でも、現場の助産師たちは、最大限のケアで女性と赤ちゃんを支えてきました。特集では感染拡大の状況下における、現場からの報告を中心に掲載します。



2021 年 12 月号

特集

組織で育む助産実践能力

国立成育医療研究センターの助産師能力開発プログラム
国立成育医療研究センターが施設機能や特性、地域に果たす役割を踏まえて作成・運営している「助産師能力開発プログラム」。そのプログラム作成の経緯と全体像、各段階での研修の実際を紹介いたします。

2021 年 特集

11 月号 母親と助産師の経験から授乳支援を考える

10 月号 母子と家族・社会をつなぎ止める、オンラインの活用方法

9 月号 全妊婦への情報提供が始まる今 NIPT について助産師が知っておきたいこと

8 月号 妊婦も助産師も、冷え対策しませんか

7 月号 後期早産児を産んだお母さんへの適切な支援とは

6 月号 ガイドラインの改訂内容を解説！ ポジティブな出産体験のための推奨項目 56

5 月号 切迫早産のより良いケアを模索する